

## Ⅱ 令和3年度広島かき生産出荷状況

### 1 生産量

区 分	令和3年度		令和 2年度	平 年	
	対前年度 (比率)	対平年 (比率)			
総生産量(トン)	18,200	+1,000 (106%)	-440 (98%)	17,200	18,640
生鮮向け(トン)	7,000	-300 (96%)	-730 (91%)	7,300	7,730
加工向け(トン)	11,200	+1,300 (113%)	+290 (103%)	9,900	10,910

(注)平年：平成23～令和2年平均値

(水産課調べ)

#### (1) 生産量

- ア 総生産量は18,200トンで、前年を6ポイント上回り、平年を2ポイント下回った。
- イ 生鮮向けは7,000トンで、前年を4ポイント、平年を9ポイント下回った。
- ウ 加工向けは11,200トンで、前年を13ポイント、平年を3ポイント上回った。

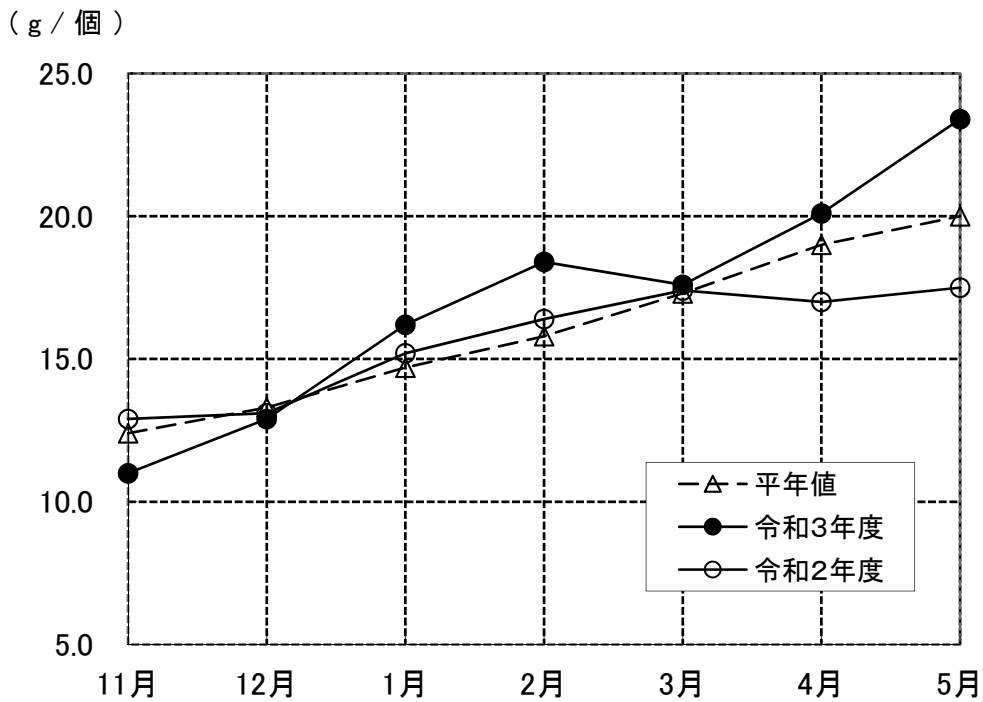
#### (2) 生産状況

- ア 採苗は、かきの餌が多い広島湾北部海域への母貝筏の設置や、かき幼生調査結果等の共有化を図ったことで、7月末には必要数量を確保した。
- イ 出荷は、広島かき生産対策協議会において「起点日と定める10月1日以降において、漁業協同組合ごと、あるいは生産者個々が、かきの身入り、消費動向、需要を見て最善と思われる時期に開始する」ことを決定した。
- ウ 身入りは、漁期前半は平年を若干下回って推移したが、漁期中盤以降は概ね平年を上回って推移したことから、今期の平均むき身重量は、16.4gとなり、平年を5ポイント上回った。(第2図)

#### (3) 出荷状況

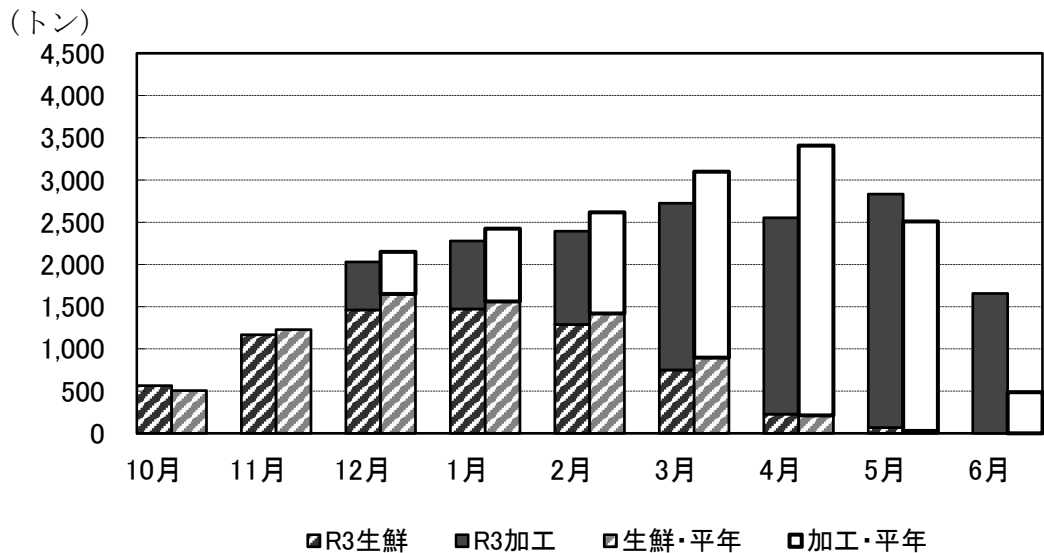
- ア 調査を行った全国の市場へのかき出荷量は、9,495トンで、前年を1ポイント上回った。このうち本県出荷量は、3,684トンで、前年を16ポイント下回った。本県出荷量が全国に占める割合は39%で前年を7ポイント下回った。
- イ 生鮮向け主体の年内の出荷は、平年と同程度に推移した。加工向け主体の漁期後半の出荷は、成育も良く高単価であったことから、特に5月以降の生産量が増加し、平年を上回った。(第3図)

県内の年間平均むき身重量は 16.4g となり，前年（15.5g）及び，平年（15.6g）を上回った。



第2図 月別出荷個体重(県平均) (水産課調べ)

(注) 平年値は平成23年から令和2年の平均



第3図 用途別月別出荷量 (水産課調べ)

(注) 平年値は平成23年から令和2年の平均

## 2 生産額

区 分	令和3年度		令和 2年度	平 年
	対前年度 (比率)	対平年 (比率)		
生産額(億円)	190	+30 (119%)	160	172
平均単価(円/kg)	1,042	+113 (112%)	929	927
生鮮向け(円/kg)	1,290	+170 (115%)	1,120	1,210
加工向け(円/kg)	886	+98 (112%)	788	729

(注)平年:平成23~令和2年平均値

(水産課調べ)

### (1) 生産額

ア 生産額は190億円で、前年を19ポイント、平年を10ポイント上回った。

イ 生鮮向け生産額は91億円で、前年を11ポイント上回り、平年を2ポイント下回った。

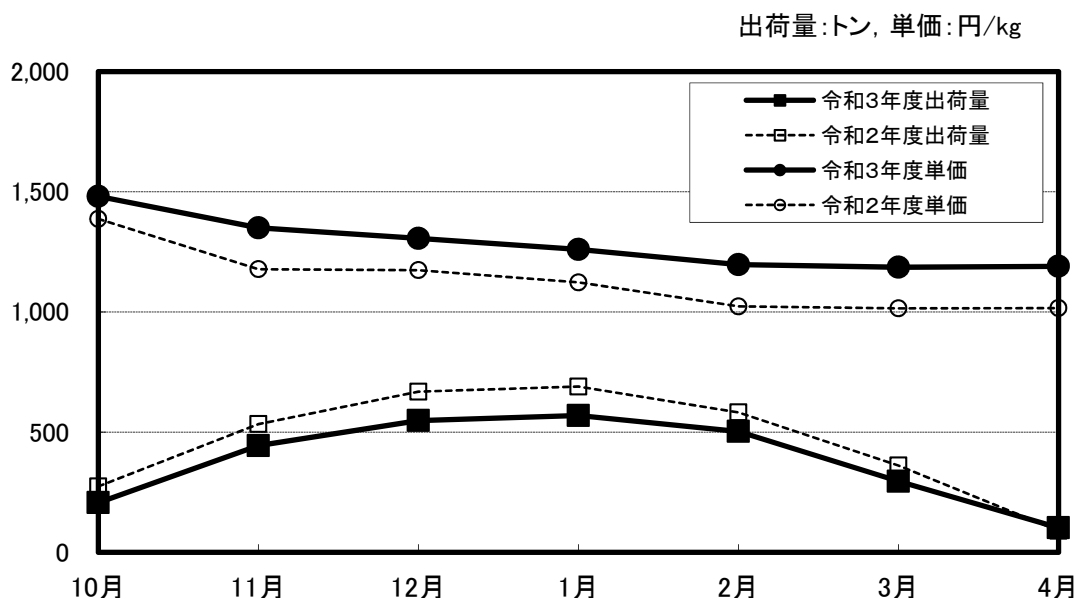
ウ 加工向け生産額は99億円で、前年を27ポイント、平年を25ポイント上回った。

### (2) 単価

ア 平均単価は1,042円/kgで、前年を12ポイント、平年を12ポイント上回った。

イ 生鮮向け単価は1,290円/kgで、前年を15ポイント、平年を7ポイント上回った。

ウ 加工向け単価は886円/kgで、前年を12ポイント、平年を22ポイント上回った。



第4図 主要市場への出荷実績

(水産課調べ)